

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2004-339509(P2004-339509A)

【公開日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2004-139071(P2004-139071)

【国際特許分類】

C 0 9 K 21/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

C 0 8 L 67/06 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 9 K 21/08 (2006.01)

C 0 9 K 21/10 (2006.01)

C 0 9 K 21/12 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 21/14

C 0 8 K 5/5313

C 0 8 L 63/00 C

C 0 8 L 67/06

C 0 8 L 101/00

C 0 9 K 21/08

C 0 9 K 21/10

C 0 9 K 21/12

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月14日(2007.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

エポキシ樹脂はエポキシ樹脂成分と架橋成分（硬化剤）との重付加反応によって製造される。使用されるエポキシ樹脂成分は芳香族ポリグリシジルエステル類、例えばビスフェノールA-ジグリシジルエステル、ビスフェノールF-ジグリシジルエステル、またはフェノールホルムアルデヒド樹脂またはグレゾールホルムアルデヒド樹脂のポリグリシジルエステル、またはフタル酸、イソフタル酸またはテレフタル酸並びにトリメリット酸のポリグリシジルエステル、芳香族アミンまたはヘテロ環窒素塩基のN-グリシジル化合物、または脂肪族多価アルコールのジ-またはポリグリシジル化合物である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

表2：

エポキシ樹脂成形体（材料肉厚1.6mm、樹脂：100部のBeckopox EP 140、硬化

剤：39部のBeckopox EH 625) のUL 94 に従う燃焼挙動

【表2】

実施例 No.	100部の樹脂当たりの難燃剤の部数	UL 94 格付け	LOI
5 (比較例)	10部 DEPAL	n. c.	0.27
6 (比較例)	20部 DEPAL	V-1	0.32
7 (比較例)	20部 テトラプロモビスフェノール A	n. c.	0.25
8	10部 DEPAL + 10 部 テトラプロモビスフェノール A	V-0	0.36